

K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！
交通量が少ないときに生まれる
「油断の心理」

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



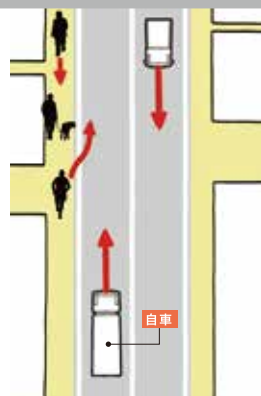
**交通
状況**

- 荷物を積んで、歩道のある片側1車線の道路を配送先に向かっていきます。通行中の道はすいています。
- 歩道には、ジョギングや犬の散歩をしている人たちがいます。

A

このような危険が！

- ✓ **車道をジョギングする人との接触**
 - ・ジョギングをしている人が、犬を散歩させている前方の人を避けるため、歩道から急に車道に飛び出てくる場合がある。中にはイヤホンを付け、周囲の音が聞こえにくい人も。
 - ・道がすいているため気がつかないうちに速度を出してしまい、とっさの対応ができない可能性がある。
- ✓ **対向車との衝突**
 - ・飛び出した歩行者に驚き、慌ててハンドルを右に切ってしまい対向車線にはみ出してしまう。



このような運転を！

- ✓ **道路がすいていても、制限速度を遵守。**
- ✓ **歩道からジョギングをする人や散歩中のペットが、急に車道に出てくることも予測した運転。**